

みんなの町議会



目次

- 9月定例会の経過 2~3
- 常任委員会の焦点 4~5
- 一般質問に5名登壇 6~10
- 決算特別委員会 11
- 研修報告 12
- 請願・陳情／県町村議会広報研修会
／県町村議員研修会 13
- 議会を訪ねて／南秋町村議員大会／全員協議会 14
- あれ なんと となったべが！ 15
- 「いちび」をたずねて・がんばってます 16

No.112
2012年10月1日

綱引きの応援に力が入る五城目幼稚園児

消防庁舎建設用地の 調査設計委託料決まる!

9月 定例会

議会の経過

9月定例会は9月4日から14日までの11日間の日程で開かれた。

一般質問には5名が登壇し豪雨対策、企業誘致の取り組み、いじめ対策、町長の政治姿勢などをたずねた。

提出案件は平成24年度一般会計補正予算案、町火災予防条例一部改正案、平成23年度各会計決算認定案など28件。

渡邊町長は行政報告で「秋田県市町村未来づくり協働プログラムにおいて『元気な地域づくり応援プロジェクト』の事業化で屋内温水プールの改修を進めたい」と述べた。

行政報告のあと、決算委員7名で決算特別委員会を設置。代表監査委員による監査報告が行われた。各常任委員会・決算特別委員会の審査を行い、最終日は各委員長報告の後、修正動議案を否決した。請願1件、陳情1件を採択、議会改革調査特別委員会の設置を可決して閉会した。



補正の主なもの

補正予算は7千583万円
で累計52億651万円。7月の豪雨災害復旧費として3千600万円、公有林整備事業でGIS購入費として594万円が主なもの。
23年度一般会計決算は歳入59億6千389万円、歳出57億3千908万円。
繰り越しを除く実質収入は2億1千915万円の黒字。

教育委員会委員の 任命に同意



伊藤 恵朗氏(74歳)
字 鶴ノ木34番地1
再任



八木下真全氏(44歳)
字 下夕町179番地
再任



佐藤 卓男氏(64歳)
大川西野字西野110番地
新任

人権擁護委員の 推薦に同意



藤本 正善氏(66歳)
字 石田六ヶ村堰添46番地3
再任

一般会計補正予算の 修正動議案を4議員が提出

6月定例会で消防庁舎建設事業費は、修正動議案が出され減額・修正された。今9月定例会に調査費が計上された。教育民生常任委員会で消防庁舎建設用地の調査設計委託料を含めた全議案を可決した。本会議で委員長報告の後に修正動議案が提出された。

修正動議案を否決!

石川交三、荒川正己、齋藤晋、佐々木仁茂の4名から消防庁舎建設事業の調査設計委託料182万5千円から22万5千円を減額修正する修正動議案が提出された。

石川交三議員は提案理由として、消防庁舎建設は必要であり調査費に反対するものではない。建設候補地5カ所のうち6月定例会で提案した1カ所は「調査済み」という認識であり、5カ所のうち1カ所分は減額すべきと述べた。質疑のあと討論に入った。

修正動議案に反対の討論

館岡 隆 議員

修正案は、消防庁舎建設は大切なもので早く建設しなければならぬと言っているが、反対しているのは詭弁であり整合性の無い事である。6月定例会で修正されたのは当局の提案が唐突であったため修正された。当局は反省も含めて時間をかけ今回の提案をした。全体を見て討議し冷静に判断すべきであり、修正案には反対である。

修正動議案に反対の討論

佐藤 成孝 議員

合併前には、どこの町村も国からの金で施設の建設をし



消防庁舎建設で熱い議論

ている。消防庁舎建設場所はどこでもよい。南向きあるいは東南向きの場所に用地を十分取って建設すべきで予算の高い安いはどうでもよい。町民のために早期に建設すべきである。

修正動議案に反対の討論

澤田石亀雄 議員

新人議員は、前の経緯を理解しないまま6月定例会で修正案に賛成した。当局が説明不足のために9月定例会に再提出した調査費に対し、用地に反対するため修正案を出すのはおかしい。新人議員は、よく考えて行動してほしいし、町民からは議会が問われているので修正案には断固反対である。

討論終結後、ただちに起立による採決となった。

修正動議案に賛成の議員

佐々木仁茂 齋藤 晋
佐藤 慶彦 荒川 正己
石川 交三

修正動議案に反対の議員

石井 光雅 畑澤 洋子
伊藤 正春 荒川 達雄
佐藤 重信 館岡 隆
工藤 卓美 佐藤 成孝
澤田石亀雄

修正動議案は賛成5、反対9（定数16、議長・欠席者1人を除く）で否決と決した。

議会選出の 選挙管理委員会委員



山平 秋明氏(80歳) **再任**
字上町35番地3



松橋 正美氏(71歳) **再任**
内川浅見内字大繋29番地4



一関 敏弘氏(69歳) **再任**
久保字上川原108番地



畠山 利信氏(64歳) **新任**
富津内中津又字千日22番地

(佐々木仁茂)

総務 常任委員会

温水プールが改修されます

県の未来づくりプロジェクトに協調した「五城目町元気な地域づくりプロジェクト」で、温水プール改修が提案された。委員 新たに天井を付けるというが震災時など落下の危険はないのか。

当局 今の温水プールでは、冬に天井から落ちて来る水滴で寒いという声もあり、水滴が落ちないような構造であれば高齢者にも優しいプールとなる。天井を付けることで燃料費も半分以下におさえることができる。取り付けは鉄骨も取り替え、屋根も全部取り替えるので新しい耐震基準が出されても対応は可能である。



改修が決まった温水プール

タバコ分煙機設置

役場2F、4F喫煙場所をパーティションで囲い、中に

教育民生 常任委員会

「消防庁舎」建設に関し 町執行部への意見が続出

補正予算は 原案賛成多数

消防庁舎建設のための候補地5カ所の調査設計委託料（182万円）が計上された原案は賛成が4、反対が1となった。

しかし、消防庁舎建設を巡り、町執行部の姿勢に対し委員から厳しい意見が集中した。

「執行部は腹を据えて取り組むように」「いつまでに建てるという意識が感じられない」「4カ所の候補地がいつの間にか5カ所に」「6月定例会後、建設協議会に一度も説明もなく検討委員会も開催していない



建設が待たれる消防庁舎

い」「調査費の大半を捨てることになる」「防災行政無線センターとの併設が視野に入っていない」などの意見が出た。

馬場目小学校の 利活用は

現在の所管は教育委員会であり、学校統合後はまちづくり課で利活用を進める。利活用検討委員会を組織しこれまで2回開催されている。まちづくり課を中心に各課からの意見を集約する形で進められているが、具体的な方向が示されていない。

子供の心の ケアを万全に

教育委員会に心の教室相談員配置事業があり、現在の相談員は幼稚園の園長経験者1名である。年間の相談件数は160件、相談室訪問生徒は138人である。委員からは「相談しやすい環境に向けて複数名配置を望む」、また「後継者育成を」との意見が出た。

(佐藤 慶彦)



役場西棟入口

役場にソーラー灯設置

委員 ソーラー灯を何基設置するか。
当局 夜間の入口となる役場西棟にLED照明のソーラー屋外灯を1機設置する。

煙を吸う機械を入れて受動喫煙を完全に防止する。
委員 機械は、有害な物質が残留する。強制排気をしないと健康面で害が残る。換気扇の設置を考えてほしい。
公共施設は分煙から完全禁煙の流れになってきている。その点はどうか。
当局 最終的には庁舎内、敷地内とも完全禁煙になると思う。役場に来られるお客様でも喫煙される方がおり、いきなりというわけにはいかない。

職員海外研修

財団法人秋田県市町村振興協会主催による県市町村職員海外研修に農林振興課岡賛さんが派遣される。実施期間は10月20日から10月29日までの10日間。訪問先はドイツとフランスで、研修テーマはドイツが環境施策、自然エネルギー、クラブスポーツを通じた地域振興、フランスでは農業施策、福祉施策である。
委員 職員旅費の10万7千円は国内分なのか。個人負担はないのか。
当局 国内分である。個人負担は発生しない。

(石井 光雅)



役場2階喫煙所

今後よりよい形にしていきたい。

こんなことを**審議**しました

産業建設 常任委員会



一部の伐採が決まったけやき通り

中央線のけやきが伐採される

委員会の焦点

豪雨災害が今年も発生

7月15日から16日にかけて発生した、豪雨災害による農地農業用施設の被害状況が判明した。農地災害が18カ所で約2・9ha。水路と農道の被災が5カ所で約74メートル、これらの工事請負費として3、600万円が計上された。
災害復旧工事の調査設計委託料が不足するため423万2千円が専決処分された。
委員 専決処分になった理由はなにか。
当局 時期的な問題で県の災害査定がせまっているためである。



頻発する豪雨災害

昨年から続発している自然災害、復旧には迅速な対応が求められる。

町民から街路樹に対するさまざまな苦情が寄せられたことから街路維持補修事業で、中央線の「けやき」伐採の予算が計上された。
委員 何本伐採して処分はどうするのか。
当局 中央線JASTANDから雀館線の十字路まで、30本伐採して、町有施設で一時的に管したのち処分方法を考える。
街路樹による見通しの悪さで交通事故も起きていることから、一日も早くうるおいを与えてくれる本来の街路樹の姿となるように期待したい。

(佐々木仁茂)

一般質問

企業誘致活動の状況は？

町長

9月中に1,000社にアンケートする



佐藤 慶彦
(無党派)

佐藤 企業誘致活動を問う。

町長 従業員数が10名以上の町内企業を誘致係に訪問させ情報収集をし、誘致済企業の本社関係者との関係作りを努めている。

佐藤 委託している調査業務の進捗状況は。

町長 9月中に県内製造業1,000社にアンケート調査を実施し、その後企業訪問する。

佐藤 1億円の企業誘致推進基金をどう活用するのか。日本立地センターで研修生受入れ事業を行っている。思い切った職員派遣をし、ノウハウを習得させてはどうか。

町長 基金を活用しての職員派遣は可能であり、提案の職員派遣のような対策を講じ効果的な誘致活動を実施する。

佐藤 東京千代田事務所の利用状況は。

町長 5月23日開所以降、まちづくり課職員4回、議会議員の視察、ふるさと会の会議など数回の使用である。

佐藤 企業訪問をしていてパンフレットなどの整備が急務であると感ずるが。

町長 企業誘致用のパンフレットは必要であり調査結果を踏まえ内容を検討する。

佐藤 町HPのリニューアルも不可欠だがいつ行うか。

町長 平成26年度に行う。



東京千代田事務所の有効活用を！



▲職員研修「企業誘致に関する講演会」

職員の教育制度は十分か

佐藤 職員の能力・意識向上が必要であり、費用はかかるが先進的な千葉の市町村アカデミーの研修などにもっと参加させるべきである。

町長 本年度、2名研修に参加させる。

佐藤 PPP（公共サービスの提供を行政と民間が連携し対応する手法）やPFI（公共施設の設計・建設・管理運営・資金調達を民間主体に委ねるもの）といった手法を理解し活用や導入は視野に入っているか。

町長 財政負担を減らしながら良質な公共サービスを提供する手法は町として今後取り組む課題である。

佐藤 職員提案はあるか。

町長 町の活性化に関することなど提案できる制度（採用者へは報奨金）であるが、近年提出された提案はない。

財務4表の整備状況は

佐藤 総務省方式改定モデルを導入しており、早期に財務4表を整備すべきである。

町長 貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表は早期に整備し公表する。

教育の充実策を問う

佐藤 中学生の受験指導について土曜塾などどのように検

討したか。実力テスト平均点が県内で1、2を争う大瀧中学校に見習うべき点は。

教育長 民間の学習塾に通う生徒も多数おり、放課後の学習支援を充実することが有効であり、土曜塾の開設は今後の課題として検討していく。

大瀧村では教育研究所を設置し、幼・小・中の連携が先進的に図られており当町でも取り入れていきたい。

消防職員の有給休暇の取得は町職員と比べてどうか

佐藤 条例定数に満たないなかで、新人5人が入り、カバーする消防職員に極端な負担がかかっているのか。

町長 一般職が年平均10・6日、消防職員が2・8日であるが、有効に有給休暇を取得していると判断している。

その他に
○バリエーションオーナーの行政改革の意識について
○町関連施設の改築・廃止予定について
○観光施策について
○ふるさと納税のクレジット払いに関して
○湖東病院について
質問しました。

一般質問

町民の安全・安心を 守れるか



齋藤 晋
(21期会)

交通事故と街路樹 の関係は

齋藤 ダイスンスーパーの十字路で過去5年間に人身事故が2件、人身事故プラス物損事故が3件発生している。

事故原因の一つである見通しをさえぎる樺の伐採は出来るのか、交通事故対策として警察との連携はしているのか。

町長 信号機や交通標識の見通しなど、警察とその都度連携をとっている。将来にわたって街路樹で見通しがさえぎられる場所は、今回伐採する。



豪雨被害水路

豪雨対策は被害者の 身になった対応を

齋藤 7月の集中豪雨により、床下浸水が発生したが、事後において応急対策として何をしたのか。又、関係団体との協議ルール作りについてどう進めるか。

町長 床下浸水は、湯ノ又や築地町、上田町で合計4件。消防署はもとより地元町内会や消防団による警戒により、被害を最小限にとどめるよう「土のう」を設置し対応した。土地改良区に対しては、早めに水門などの開閉を行うよう依頼している。

今年の除雪は 大丈夫か

齋藤 パトロールをしているにもかかわらずクレームがあるが、確認は十分か、契約書にどう反映させるか。

町長 理想の除雪は舗装面が出る状態だ。確認は条件が違うため、交通の確保を最優先に確認している。

契約に関し除雪会議、担当者打合せ、あるいは契約時に除雪の基準、仕様などを契約業者に徹底していきたい。

齋藤 除雪業者との契約書第11条3項(検査及び引き渡し)に関する項目に「検査結果不合格の場合の手直し」についての項目があるが手直した場合は料金はどうなる。昨年の手直しの回数は何回か。

町長 手直しは町から命じられた場合には遅滞なく実施しなければならぬこととされており、費用は請負者の負担。手直し回数は記録がない。

朝市通りの交通規制はなぜ?

齋藤 公安委員会の指示で常設の「車両通行止め」の規制



朝市通り規制標識

はどうしてこうなったのか、改善するための応急策は、根本的な解決策は。

町長 朝市の安全な開催と朝市来場者や付近住民の安全確保のため、常設の規制標識を設置し、注意を喚起した。

応急策は、五城目警察署で、付近住民、関係機関に対し、通行禁止道路通行許可証の発行手続きを進めている。又、秋田県公安委員会による交通規制の見直しについても五城目警察署と協議したい。

その他に
○行政サービスとは何か。
職員の業務範囲は、どこまでなのか
質問しました。

あなたにかわって
聞きました

一般質問

6月定例会で修正(0円に) された目玉案件の対応は！

町長 調査説明不足、陳謝する



館岡 隆
(新世紀クラブ)



もうまてない 老朽化した消防署

館岡 本年度目玉の案件、消防庁舎用地、し尿処理場の調査費が残念ながら、6月定例会で修正可決され0円にされた。その後当局の緊張感、責任感、リスクマネージメント、何ら見られない。トップリーダーとして今後の対応は？

町長 消防庁舎の建設は現在の施設が老朽化しているため、早急に多方面から再度調査したく、関係予算を計上した。し尿処理場は先進地視察をする。

トップリーダーとしての自覚は。3期目はあるか！

館岡 民主党の鳩山、菅代表それぞれ失政の責任をとって退陣し野田内閣も間も無く終る。トップは常に自分の政策に責任をもたなければならぬ。町長は町の状況、役場の空気、何一つリスクとされる状態でない事を感じないのか。政治家は自分の掲げた政策が町民から支持されなければ、責任をとるのが当然である。町長は公約を忘れていないか。誇りと信頼も黒塗り公用車もどうですか？

町長 町民とともに汗し働く協働のまちづくりを基本に進めてきた。8年間の歩みが根付き芽が出てきた。町民の評価も考慮するが、花をつけ実を結ばせる責任がある。

館岡 町長の3期目があるのか伺っているのに、職員書いた原稿丸読み答弁ではトップリーダーとしての自覚がない。町長の言う誇りと信頼は取り戻したか？

町長 誇りと信頼は十分に取り戻したと自負している。

館岡 町長の言うように誇りを取り戻したとしたら役目は終わった。これ以上続けたら町民にも職員にもトップとして、リスクとされないし逆に隣接町村の信頼も失う。

全国学力調査結果

館岡 秋田県の小、中学校が、全国学力調査でトップの成績と発表された。我が町のレベルは。

教育長 抽出調査では小、中学校とも県の平均である。国語Bは平均を上回り上位である。

館岡 昨年の9月定例会で提案した震災地へのボランティア修学旅行は？

教育長 9月に一泊二日の日程で仙台松島方面で3小学校合同で実施する。防災意識を

考える機会にする。児童の安全面などを考慮したボランティアの取り組みは校長会から理解されなかった。

全国的ないじめ問題への考え方と町の取り組みは

館岡 毎日報道される、いじめとそれによる児童生徒の自殺、そのたびごとの学校の対応の悪さ、教師の無責任さ、教育委員会の隠蔽体質、我が町の小、中学校の状況はどうか。アンケートを実施してオープンにするべきだ。

教育長 文科省の依頼により調査をした。いじめはなかった。今後アンケートを実施して、いじめの早期発見につとめる。

- その他に
 - 消防団員の震災地視察の実施を
 - 震災地への今後の支援のあり方
 - 市町村未来づくり協働プログラム内容について(温水プールの改修)
 - 町営住宅の入居基準は守られているか
- 質問しました。

学校給食での 食物アレルギー対策は

一般質問

町長

アレルギー疾患を有する児童は30名
対応食(代替食、除去)対象児童は10名



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤 食物アレルギーのため、みんなと同じ給食を食べられない子供達がいる。県内の小中学校では、給食の対応が一本化していない。当町の現状はどうなっているか。
町長 本年度の調査で本町の食物アレルギー疾患児童は、30人、内、学校給食の食物アレルギー対応食は、(代替食・除去)実施児童が10人という状況だ。アレルギー症状としては、皮膚症状(じんましん・かゆみ等)が6人。呼吸器症状(せき・呼吸困難)が2人。消化器症状(吐き気・嘔吐・腹痛)は1人。アナフィラキシー症状(皮膚症状・呼吸器症状・消化器が同時かつ急激に出現した状態で、血圧低下、意識の低下や脱力をきたし、生命に関わる重篤な状態)はいない。

畑澤 アレルギー対策委員会の設置、マニュアル作成の有無。アナフィラキシー発症時のエビペン(※)対応はどうなっているか。

町長 食物アレルギーを有する児童生徒数が増加傾向にあり、学校給食対応へのニーズ

当町のいじめの実態と対策は

畑澤 滋賀県大津市の中学2年男子生徒が飛び降り自殺した問題で、不都合なことは隠そうとする教育委員会の対応に、社会全体が不信感を強めている。当町の実態はどうか。

教育長 町内各小、中学校で「いじめに関する調査」を実施したが、いじめはなかった。これまで児童生徒の生活アンケート、広域カウンセラーの活用、教職員研修など実施してきた。全国的に発生する深刻ないじめや自殺の事実を重く受けとめ、取り組みの強化を図る。

畑澤 いじめに対する認識が欠落している。いじめは「いじめる側が100%悪い」「他人は

も高まっている。実態に応じてマニュアル等の作成について関係機関と協議していく。アナフィラキシー症状については、「学校におけるエビペン使用の指針」により対応する。
※アドレナリン自己注射薬

もう一人の私」「自分の満足のために、他人を道具にできない」という人間教育が、大人にも子供にも必要不可欠。
教育長 全教職員が一致協力して実効性のある体制確立を図る。



地域住民に恐怖を与えた内川川の洪水

防災対策としての河川整備

畑澤 7月16日早朝の内川川の洪水は、地域住民に恐怖を与えた。昨年も起き、今年はこれで終わりという確証もない。早急に県と協議し、内川川堤防かさ上げ、馬場目川中洲の除去を防災対策として実施すべきだ。被災者のメンタルケアを担当する仮称「心をつくす課」を設置してはどうか。

町長 県に対して安心安全を望む地元の要望を、しっかりと伝えていく。「心をつくす課」は、職員定員適正化計画で職員を削減しているところで、新たな課の設置は難しい。全職員がそれぞれ心をつくすことで被災された方々へ対応する。

若者定住策へ補助制度を

畑澤 当町に住みたいと願う若者が、一人でも増える事が大事だ。過去にあった制度を検証し実施する考えはないか。
町長 平成24年度から10年間の「町総合発展計画」において重点プロジェクトと位置づけ、取り組む。

町長の政治姿勢を問う。 3期目の立候補は？

一般質問

町長 全身全霊を注ぐ



石川 交三
(日本共産党)

石川 2期8年間をどう総括しているか。

町長 最初に手がけたのは自立計画と行政改革推進プログラムの策定である。厳しい財政事情の中、五城目第一中学校の改築、農林業活性化、商店街、朝市の活性化を図るための朝市ふれあい館の建設、協働のまちづくりの定着、乗り合いタクシー運行、食育の推進などさまざまな事業を展開してきた。企業誘致はまだ成果が出ていないが、自身が町のセールスマンとして真剣に取り組んでいく。

石川 目指すべき町の将来像をどう描いているか。

町長 町の総合発展計画で「人とまちが響きあう 五城目」を将来像として掲げている。就任して以来、初めての総合発展計画であり、その方向性に基つき町の飛躍と発展を目指す。

石川 3期目に向けての立候補の意思は。

町長 地方自治法の精神の本旨である住民福祉の向上のため、全身全霊を注いでまいりたい。

馬場目小学校の活用策は

石川 検討していると思うが、来年の4月1日からどうするつもりか。

町長 職員で組織する「利活用検討委員会」で素案策定のため、地域要望などを整理して検討している。具体的に説明できる状況にはないが、さまざまな提案について改修の場合の財政面、管理運営面の課題を検討し可能性を探りたい。



どうする？馬場目小学校

エドウィンのマスコミ報道への対応は

石川 ジーンズ大手のエドウィンが200億円の損失を出

したことが報道された。影響が懸念される。町として対応が必要だ。

町長 新聞報道後に経理関係などについて第三者機関による調査が行われており、まだその結果は示されていない。自己資金率からみて破たんする懸念は少ないという情報もあるが、五城目・大川工場で約100名の従業員がおり、調査結果次第では影響も懸念されるため、誘致企業として何らかの対応を考えなければならぬ。



秋田ホーセ(株)

大槌町への支援の考え方は

石川 これまで「あらゆる角度から検討したい」としたが、どうしたか。

町長 アンテナショップ「結海」で「3月11日を忘れない」

と銘打って毎月11日に月間イベントを実施している。

大槌町長に支援の意向を伝えた際「もう少し考えさせてほしい」ということで今日までできてしまったが、再度、話したい。



賑わうアンテナショップ(結海)

石川 長期の継続した支援が必要だ。毎年一定数量のコメを大槌町に送ろう。

町長 支援の内容について大槌町から切り出しにくいとも考えられるので、再度、話し合いたい。

その他に

- 議会改革に関しての町長の所信について
- 反問権についての考え
- 議会の映像配信システムの導入について
- 特養ホームそばの町道整備と権限移譲について

質問しました。

決算特別委員会

収入未済額の合計約2億円 徴収に努力を！



報告する佐藤成孝委員長

決算特別委員会に付託された議案は平成23年度一般会計歳入歳出決算はじめ9件である。審査日程は9月7日から12日までの4日間。役場の各担当課長、職員の説明を求め慎重に審査をした。

審査の重点事項

- 予算執行の結果、町民の福利増進に投資の効果が発揮されているか。
- 不必要な過大投資が無かつたか。
- 行政運営が効率的に執行されているか。
- 歳入欠陥や積算の誤り不正支出などによる瑕疵はなかったか。
- 健全財政を維持できる財政内容になっているか。
- 今後の行財政運営の在り方に改善の余地はないか。

審議終了後、全会一致で認定すべきものと決した。未納関係について不納欠損額と収入未済額の合計は約2億円程になっている。貴重な自主財源なので徴収に特段の努力をするように指摘した。

広域消防施設や、し尿処理施設、湖東総合病院改築の負担金など大型投資が目白押しに控えており、今後益々健全

財政の維持に充分配慮するように望む。



決算特別委員会審議

審議事項

消防本部

- 職員定数は、29人であるが現在26名である。定数にするよう努力すべき。

- 「消防力の指針」により防火水槽の数などが示されている。町民の安全のため指針に近づけるよう指摘した。

出納室

- 町発注の工事代金の支払について、町内業者の現状を

税務課

考慮し、出来る限り早めの支払いをすべき。

- 入湯税をはじめ税の徴収率を引き上げるよう指摘した。
- 税の未納者と町との取引に關し、滞納があれば徴収に努力すべき。

総務課

- 町有施設の指定管理契約に關し、警備保障契約も含めて契約をすべき。

生涯学習課

- 各地区の公民館の利用率にばらつきが見られる。各公民館が努力し利用率を上げるよう指摘した。

学校教育課

- 廃校が決まっている馬場目小学校の活用方法について、早めの対応を求める。

農林振興課

- 町内の学校と各施設に非常用発電機を設置したが、活用方法及び備品の配布などがなされていない。早急な改善に努力すべき。

商工振興課

- 耕作放棄地解消を推進する施策の強化を求める。
- 朝市振興のため出店者に対

健康福祉課

する施策など観光の観点から推進すべき。

- 介護保険の未納者に対しての罰則があるが、理解していない人が多く、不利益を被る。周知徹底に努め、未納の無いよう努力すべき。

決算特別委員

- 委員長 佐藤 成孝
副委員長 齋藤 晋
委員 荒川 正己
" 舘岡 隆
" 伊藤 正春
" 佐藤 慶彦
" 佐々木仁茂
" 小林 正志
参 与 (議会議長)



一般廃棄物最終処分場を視察

(齋藤 晋)

全国市町村議会議員研修報告

齋藤 晋

全国から市町村議員44名が参加し、7月9日から13日まで（4泊5日）千葉市の市町村職員中央研修所において、「市町村議会議員講座I政策基本コース」を受講した。
五城目町からは、新人議員5名全員が参加した。



財政分析の研修

受講内容 要旨

1、分権改革の動向と市町村

今後の日本の有り方として、中央集権から地域主権への移行がはかれる。地方財政を拡充し各自治体が交付金に頼らず、地方自治を実現するのが理想。

2、議会改革と議会の活性化

全国的に政治に対する信

頼及び議員に対する信頼が薄れ、議会そのものの有り方について改革が始まった。議会基本条例・議会の透明性・情報の共有化など議会改革を進め活性化を図る。

3、地方税制改革と今後の展望

社会保障・税の一体改革において地方財源・地方税の充実は緊急の課題である。地域ごとの財源保障する地方税財政制度が重要で、地方主権・地方分権とも適合する。

4、自治体の経営改革

今後の少子高齢化に伴い、人口減少が予想される。人口減少を視野に入れ、今後の行政サービスを如何に考えるか。

5、地方財政の現状と課題

国税、地方税の有り方を考え、分権を推進する財源として地方税・地方交付税などの見直しを考える。

6、新たな公会計制度における財政分析の手法とポイント

複式簿記を基本とし、無

駄を無くすため決算を重視し、決算のチェックにより次年度の予算を構築する。政策を推進するためのコストを考え、財政の健全化を図る。

7、課題演習「住民と議会との新たな関係」「長と議会の関係」

44名の受講生を6名から7名の班に分け右記2主題について班ごとに演習を実施。

総括

研修会に参加し一番印象に残った事は、参加議員一人一人の議員としての自覚が高く・郷土を愛する熱い心を持ち・個人としても議員としても常に向上心を持ち、研修会に参加し住民のために頑張っている議員の方々と意見を交換することが出来、新人議員として参加させてもらい、大変得るものが多い研修会であった。
又、各地域でそれぞれ問題が有り、解決するために日々努力している話も何え参考になった。

● 研修参加議員

佐々木仁茂・齋藤 晋
石井 光雅・佐藤 慶彦
畑澤 洋子

全国町村議会広報研修報告

佐々木 仁 茂

7月30、31日の2日間にわたり東京都永田町砂防会館で開催された、第76回町村議会広報研修会へ参加した。

参加メンバーは、広報委員5名。畑澤洋子委員、石井光雅委員、齋藤晋委員、佐藤慶彦委員。

全国から627名の参加があり、会場内からは広報作りへの意気込みと熱気が感じられた。

30日の研修は、3名の講師から広報作りに係わる次の3つのテーマ

① 伝わる分かりやすい文章を書く

② 広報誌におけるレイアウト表現の基本

③ 写真の撮り方
についての講演があり、いずれも読者目線を意識した基本的な広報作りについての内容であった。

2日目は、議会クリニックスで、第一分科会へ参加し、編集アドバイザーの芳野政明講師による各町村広報誌の診断を受けた。



全国町村広報研修会

「みんなの町議会」No1110号が診断された。

表紙から最終ページまで、予想外の厳しい指摘を受け、改めて広報誌作りの難しさを痛感した。

今回の研修で学んだ基本的な誌面作りや広報誌の果たす役割の重要性などを念頭に置き、今後読者に読まれ、親しまれ、伝わる広報誌作りにつきりと取り組んでいきたい。

請願 陳情

請願

採択

◆少人数学級の推進・義務教育費国庫負担率2分の1の復元に係る意見書採択についての請願書

秋田県教職員組合

執行委員長 伊藤 正通

秋田県教職員組合 男鹿南秋支部
支部長 渡部 豊彦

陳情

採択

◆地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について

全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

統継審査

◆消防署移転建設地誘致に係る陳情書

富津内地区町内会長会

会長 原田 行雄

意見書送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

地球温暖化対策に関する「地方財源確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

提案理由

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割をふまえて「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求めるため。

提出先

内閣総理大臣 野田 佳彦
財務大臣 安住 淳
総務大臣 川端 達夫
国家戦略担当大臣 古川 元久
農林水産大臣 郡司 彰
環境大臣 細野 豪志
経済産業大臣 枝野 幸男
衆議院議長 横道 孝弘
参議院議長 平田 健二



少人数学級授業風景（大川小学校）

「少人数学級の推進・義務教育費国庫負担率2分の1復元」を求める意見書について

提案理由

少人数学級を推進し、教育の機会均等と水準の維持向上を図る。義務教育費国庫負担率2分の1の復元を求めるため。

提出先

内閣総理大臣 野田 佳彦
内閣官房長官 藤村 修
文部科学大臣 平野 博文
財務大臣 安住 淳
総務大臣 川端 達夫

秋田県町村議会議員研修会

秋田県町村議会 広報研修会

日時 平成24年7月23日（月）
午前10時30分

場所 秋田市ルポールみずほ 3階「ふようの間」

講演 「町村議会の広報はこう作る」
～7町村の議会広報を拝見して～

講師 広報コンサルタント 深沢 徹氏

参加者 広報編集委員
畑澤洋子、齋藤晋、石井光雅、佐藤慶彦、伊藤正春、石川交三、議長小林正志、副議長荒川達雄、議会事務局局長伊藤直勝

主催者 秋田県町村議会議長連絡協議会

日時 平成24年7月23日（月）
午後1時15分

場所 秋田県市町村会館 5階大会議室

講演 「議員提案による政策条例のポイント」
（財）地域開発研究所

講師 研究部 主任研究員 牧瀬 稔氏

演題 「今後の政局のゆくえ」
テレビ朝日キャスター・コメンテーター 三反園 訓氏

参加者 小林正志、荒川達雄、齋藤晋、石井光雅、佐藤慶彦、畑澤洋子、伊藤正春、佐藤重信、館岡隆、荒川正己、千田峯夫、石川交三、工藤卓美、佐藤成孝、澤田石亀雄

議会事務局 伊藤直勝、工藤成子

主催者 秋田県町村議会議長連絡協議会



（伊藤 正春）

議会を 訪ねて

日本赤十字秋田看護大学

笹川 夢都美
松橋 沙知
柏 真美花

私たち3人は五城目町の出身ですが、議会を傍聴するのは初めてでした。私たちが普段暮らしている中では聞くことのできない町のみなさんの要望や意見などを聞くことができ、五城目町の実感がわかりました。

今回の議会では、「交通事故と街路樹」についての一般質問がありました。県から植樹された大切なケヤキであるにもかかわらず、町民の安全を第一に考えた討議が進められていたことに、感銘を受けました。

私たちは、健康保険事業について学んでいます。前日に地域を知



るために、五城目町を地区踏査させていただき、町民のみなさんのお話を実際に聞くこともできました。議会では町民の方々の生活のなかでの困難さや、五城目町の発展のため意欲・向上心を強く感じることができました。町民のみなさんの意見を聞くことは、健康保険事業を進めていくには欠かせないことだと思えます。今後、私たちは11月に五城目町のみなさんを対象に、健康教育などを行っていくと考えています。今回の議会傍聴が自分たちの今後の活動に生かせるようにしたいと思います。

南秋田郡町村議会議員大会

日時 平成24年8月3日(金)
午後3時30分～

場所 八郎潟町農村環境改善センター

講演

● 演題 「湖東総合病院・過去、現在そして未来へ」

● 講師 湖東総合病院 院長 中鉢 明彦先生

大会決議

1. 湖東総合病院の医師確保と救急医療体制の確立を
1. 八郎湖水質浄化の抜本的な対策の早期推進を期する

1. 松くい虫被害対策及びヤマビル被害対策の一層の推進を期する

1. 秋田中央地区広域農道の県道昇格を期する

1. 主要地方道秋田八郎潟線および一般県道道村大川線、北の又井川線の早期整備を期する

参加者 小林正志、荒川達雄、佐々木仁茂、齋藤晋、石井光雅、佐藤慶彦、畑澤洋子、伊藤正春、佐藤重信、館岡隆、荒川正吉、千田峯夫、石川交三、工藤卓美、佐藤成孝、澤田石亀雄

議会事務局 伊藤直勝、工藤成子

主催者 南秋田郡議会
会議長連絡協議会



議会議員 全員協議会

8/7

協議案件

秋田県市町村未来づくり協働プログラムについて

県の未来づくり協働プログラムの協議して「五城目町元気な地域づくり応援プロジェクト」構想が提案された。

素案では住民、地域の元気プランとして屋内温水プール・集会所の整備が計画されており、県との協議を経て事業化される。

報告案件

- (1) 湖東総合病院改築事業について

- (2) 7月15日から16日発生した梅雨前線豪雨災害に伴う専決処分について

(伊藤 正春)

あれ

なんとになったべが!



平成23年9月定例会一般質問より

問

AED（自動体外式除細動器）を地区公民館へ設置しよう。小・中学校や公民館には整備されていないが、地区公民館には整備されていない。取扱い指導と救急救命講習はどのように行なわれているか。

答

各種講座やイベントで多くの町民が利用する地区公民館は避難場所に指定されていることから設置を検討したい。AEDの取扱いや救命講習は町内会・学校・各施設・企業の要望により行なっている。受講者数は述べ2,390人となっている。



自動体外式除細動器

現在

AEDについては、今年度（平成24年度）当初予算により、すでに全地区公民館に設置している。公民館入口にAED設置を示すステッカーを掲示し、周知に努めている。取扱い方法や救命講習会については、各地区公民館がそれぞれ実施している事業に併せ、消防職員などを講師に迎えて開催している。

問

非常災害の対応は？生活インフラの確保、冠水箇所への対応・土のうなどの確保、対応業者の連携、地域ごとの防災訓練を実施すべきだ。

答

各地区公民館などに非常用発電機を予算計上した。緊急物資の備蓄体制は県と町で協議している。自主防衛こそ最善の策である。「防災マニュアル」を熟読してほしい。

現在

上水道については、停電時にも断水しないよう、発電機を設置した。避難所に指定

している地区公民館や小中学校15箇所に、非常用発電機を配備した。今後は、非常時の通信確保のための特設

公衆電話や災害用トイレを整備する。



発電機

問

「命のバトン」運動を展開しよう。患者の情報をバトンに入れて冷蔵庫に保管しておくもので、救急搬送や病院への連絡の際に有効だ。

答

秋田市では70歳以上の一人暮らしや高齢世帯に配布しており、八郎潟町でも実施予定のようだ。町民の安心・安全・福祉向上に有効であり前向きに検討する。

現在

各町内会長を通して、全世帯に配布した。一人暮らし老人世帯、高齢者世帯には、民生児童委員・社会福祉協議

会訪問ヘルパーから指導、協力をいただき対応する。

今後の救急救助活動では的確な情報が医師に伝わり、救命率の向上につながるものと期待される。



命のバトン

いちび たずねて

本間喜美子さん
(館越)



◆ 楽しいことは。

本間 お客様や同業者の友人と会話できるのが楽しい。ストレス解消になります。

◆ 工夫していることは。

本間 信用が大事。正直に商売しています。規格外の物は理由を伝えて安くしています。

◆ つらいことは。

本間 雨や雪は大変です。

◆ もっと良くするために。

本間 初めて出店する人には、一年間、場所代無料にするとか考えてほしい。

◆ 町政にひとこと。

本間 いちび発展のためにがんばっていると聞くと、目に見える結果がないと思えます。

(取材：畑澤洋子)

本間 いちびに出ていた夫の母が亡くなってから引き継ぎましたが、なれない畑仕事は大変でした。

本間 35年くらいになります。

◆ 出店されて何年になりましたか。

がんばってます



J A あきた湖東
工藤 辰文さん
(浅見内)

に対する要望があるのかを実感しております。

まだ、分からない事があつたり、ミスをしたりと迷惑をかけてばかりですが、先輩方からの指導をおおきながら、どのような業務も全力で取り組み、先輩方の負担を軽くしていけるよう頑張っていきたいです。

私は、生まれ育った五城目町での就職を希望していたので、今こうして地元で働くことができ、大変うれしく思っています。

今まで育て支えてくれた家族、地元感謝し、日々努力する事により、地元の皆様へ頼られるJA職員となり、少しでも恩返しができるよう頑張りたいと考えています。

今後、地域に貢献できるように頑張りますので、これからもよろしくお願ひ致します。

(取材：佐藤慶彦)

編集

後記



猛暑の夏、異常残暑の夏もようやく去り、稔りの秋を迎えた。今年の稲作は、大きな災害もなく4年ぶりのやや良となり、農家の皆さんは安心しているものと思う。

決められない国会は、重要法案を棚上げして閉会し、大震災も原発も忘れたかのように党首選びに没頭している。この号が出るころには民主も自民も党首は決まっている。そして近いうち解散はいつになることやら。

渡邊町長は9月定例会において3選出馬を表明した。8年間の歩みで根付き、芽が出てきたものに花を咲かせ実をつける責任があるとのこと。来年の2月までどんな挑戦者が現れるやら見守りたい。

今議会、開かれた議会を目指して議会改革調査特別委員会を正式に設置した。町民の期待に応えるよう頑張りたい。

石井光雅記